

「日本における気候変動による将来影響の報告と今後の課題について(中間報告)」に関連する  
意見の募集(パブリックコメント)の結果について

1. 意見の募集(パブリックコメント)の結果について

平成26年4月25日(金)から平成26年5月26日(月)までの間実施しておりました、意見の募集(パブリックコメント)の結果についてご報告いたします。

(1) 意見提出者数 35団体・個人

(内訳)

- (ア) 気候変動による影響が考えられる分野・項目に関する意見の募集 3個人  
 (イ) 気候変動による影響の評価の情報の募集 30団体・個人  
 ※学会や地方自治体への情報提供依頼の結果(6/20現在)も含む  
 (ウ) 「中間報告」の概要に関する意見の募集 2団体

(2) 延べ意見数 230件

(内訳)

- (ア) 気候変動による影響が考えられる分野・項目に関する意見の募集 3件  
 (イ) 気候変動による影響の評価の情報の募集 223件  
 (ウ) 「中間報告」の概要に関する意見の募集 4件

(3) 頂いた御意見・情報について

(ア) 気候変動による影響が考えられる分野・項目に関する意見の募集

	御意見の概要	御意見への考え方
1	<p>【意見の内容】 離島の水没等による領海、排他的経済水域等の縮小</p> <p>【意見の理由】 国家の主権にかかわる問題であることから無視できない問題であり、しっかり検討して国民にその成果を知らせるべきだと思えます。</p>	<p>貴重な御意見をありがとうございます。</p> <p>今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

	御意見の概要	御意見への考え方
2	<p><b>【意見の内容・理由】</b> 2000年頃に千葉県では「雹(ひょう)」が発生した。また最近では関東で爆弾低気圧、竜巻が多数発生し被害が出ている。直接温暖化が影響を及ぼしているかどうかは科学的根拠の立証の必要性があるものの、爆弾低気圧・竜巻・台風は性質が根本的に異なるため、単に「強風」とまとめるのではなく、それぞれ別にして小項目化して対応策を具体的にまとめていく必要があると思われる。「雹」については項目での記載はなし、今後も長期ベースでは再発することも考えられるので項目として取り上げた方が望ましいと思われる。</p>	<p>貴重な御意見をありがとうございます。 今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
3	<p><b>【意見の内容】</b> 別添資料の将来影響一覧「自然生態系」の予想される影響には「低標高地に生息するナキウサギの分布縮小・消滅」を加えるべき</p> <p><b>【意見の理由】</b> 北海道の日高地区や置戸地区の低標高地に生息するナキウサギについて、生息に必要な条件が解明されておらず、温暖化の影響を受ける(もしくは受けている)可能性があるため</p>	<p>貴重な御意見をありがとうございます。 今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

(イ) 気候変動による影響の評価の情報の募集

	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
1	Responses of Manila clam growth and its food sources to global warming in a subarctic lagoon in Japan	SeokjinYoon ほか	日本海洋学会
2	The effect of climate change on the growth of Japanese chum salmon ( <i>Oncorhynchus keta</i> ) using a bioenergetics model coupled with a three-dimensional lower trophic ecosystem model (NEMURO)	Michio J.Kishi, ほか	日本海洋学会
3	Environmental factors which affect growth of Japanese common squid, <i>Todarodes pacificus</i> , analyzed by a bioenergetics model coupled with a lower trophic ecosystem model	Michio J. Kishi ほか	日本海洋学会
4	地球温暖化による海洋生態系の変化	岸道郎	日本海洋学会
5	Effect of global warming on the life history and population dynamics of Japanese chum salmon	Masahide Kaeriyama ほか	日本海洋学会
6	日本海深層の無酸素化に関するメカニズム解明と将来予測	環境研究総合推進費 (A-1002) 報告書	日本海洋学会
7	長期にわたる森林放置と植生変化が年蒸発散量に及ぼす影響	谷誠・細田育広	水文・水資源学会

	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
8	A paradigm shift in stormflow predictions for active tectonic regions with large-magnitude storms: generalisation of catchment observations by hydraulic sensitivity analysis and insight into soil-layer evolution.	谷誠	水文・水資源学会
9	地球圏・生物圏・人間圏の相互作用と環境問題	谷誠	水文・水資源学会
10	浅い富栄養湖の水質に及ぼす気象の影響	福島武彦ほか	日本水環境学会
11	地球温暖化による水系感染症への影響	肱岡靖明ほか	日本水環境学会
12	地球温暖化による水循環の変化－AR4・SREXからAR5へ－	鼎信次郎	日本水環境学会
13	地球温暖化による閉鎖性水域の水温、水質変動予測	梅田 信	日本水環境学会
14	水環境における温暖化影響に対する適応策	肱岡靖明	日本水環境学会
15	沿岸域における気候変動の影響とその適応策	横木裕宗	日本水環境学会
16	地球温暖化に対する東京都水道局の取り組み	増子 敦	日本水環境学会
17	地球温暖化問題を考慮した水環境管理	花木啓祐	日本水環境学会
18	地球温暖化と下水道	森田弘昭	日本水環境学会
19	地球温暖化と地下水塩水化	神野健二	日本水環境学会
20	複合的な対策による諏訪湖水環境改善及び副次的CO <sub>2</sub> 排出による地球温暖化への影響の統合的評価	稲葉陸太	日本水環境学会
21	地球温暖化の陸水への影響と対策	楠田哲也	日本水環境学会
22	土壌環境への影響	細見正明	日本水環境学会
23	水環境変化がもたらす温暖化傾向へのフィードバック	松岡譲	日本水環境学会
24	都市気候変動	持田灯	日本建築学会
25	近年の気温と降水量が飼料用トウモロコシの病害発生と乾物収量に及ぼす影響	宇敷真子 ほか	群馬県
26	気候変動が養殖業に与える影響-局所的集中豪雨や海洋酸性化の影響を考える-	吉松隆夫	日本水産学会
27	気候変動に伴う影響－東京湾周辺における海面上昇による影響の経済的損失の一考察	山本 桂香	環境情報科学センター
28	農業分野における気候変動適応技術の社会経済的評価手法に関する研究	小林 慎太郎 ほか	環境情報科学センター
29	気候変動が圃場における水稻の生長に与える影響とその適応策に関する研究	辰己 賢一	環境情報科学センター
30	Effects of temperature, salinity and their interaction on growth of Japanese Gambierdiscus spp. (Dinophyceae)	Yamaguchi, Haruka ほか	日本水産学会
31	Genetic Diversity and Distribution of the Ciguatera-Causing Dinoflagellate Gambierdiscus spp. (Dinophyceae) in Coastal Areas of Japan	Nishimura et al	日本水産学会

	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
32	地球温暖化に伴う海水温上昇が日本近海のサンゴ分布及び健康度に及ぼす影響評価	屋良 由美子 ほか	日本海洋学会
33	Projection and uncertainty of the poleward range expansion of coral habitats in response to sea surface temperature warming: A multiple climate model study	Yara, Y ほか	日本海洋学会
34	Ocean acidification limits temperature-induced poleward expansion of coral habitats around Japan	Yara, Y ほか	日本海洋学会
35	Projected coral bleaching in response to future sea surface temperature rises and the uncertainties among climate models	Yara, Y ほか	日本海洋学会
36	20 km格子間隔の大気大循環モデルを用いた地球温暖化予測による梅雨の変化	楠 昌司ほか	—
37	20 km格子全球大気モデルを用いた地球温暖化予測	楠 昌司ほか	—
38	20 km格子全球大気モデルを用いた地球温暖化予測による梅雨の変化：海面水温依存性	楠 昌司ほか	—
39	20 kmおよび 60 km格子全球大気モデル予測された東アジアの雨期の将来変化	楠 昌司ほか	—
40	CMIP3 モデルで予測された夏の東アジアモンスーンの降水強度の変化	楠 昌司ほか	—
41	2010 年夏 日本の猛暑	楠 昌司 編集	—
42	Effects of high temperature on growth, yield and dry-matter production of rice grown in the paddy field	Oh-e, I. ほか	日本作物学会
43	気温上昇がダイズの開花結莢, 乾物生産と子実収量に及ぼす影響	大江和泉 ほか	日本作物学会
44	Effects of rising temperature on growth, yield and dry-matter production of winter wheat	Oh-e, I ほか	日本作物学会
45	近年の日本における稲作気象の変化とその水稻収量・外観品質への影響	河津俊作 ほか	日本作物学会
46	地球温暖化が北日本のイネの収量変動に及ぼす影響	下野裕之	日本作物学会
47	高温・高 CO2 濃度環境が水稻の生育・収量に及ぼす影響：第 2 報 収量および収量構成要素について	金漢龍 ほか	日本作物学会
48	登熟期の高温が穎果の発育ならびに米質に及ぼす影響	長戸一雄・江幡守衛	日本作物学会
49	1999 年の夏期高温が水稻の登熟と米品質に及ぼした影響	寺島 一男 ほか	日本作物学会
50	水稻登熟期の高温条件下における背白米の発生に及ぼす窒素施肥量の影響	若松 謙一 ほか	日本作物学会
51	日本海水温のレジームシフトと漁況（サワラ・ブリ）との関係	為石日出夫 ほか	日本水産学会
52	沿岸・沖合定線観測データから示される日本海及び対馬海峡における水温の長期変動	加藤修 ほか	日本水産学会
53	Nutrient and phytoplankton dynamics in Harima-Nada, eastern Seto Inland Sea, Japan during a 35 year period from 1973 to 2007	西川哲也 ほか	日本水産学会

	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
54	Long time-series observations in population dynamics of the harmful diatom <i>Eucampia zodiacus</i> and environmental factors in Harima-Nada, eastern Seto Inland Sea, Japan during 1974-2008	西川哲也 ほか	日本水産学会
55	Long-term (36-year) observations on the dynamics of the fish-killing raphidophyte <i>Chattonella</i> in Harima-Nada, eastern Seto Inland Sea, Japan	西川哲也 ほか	日本水産学会
56	Changes in the potential habitats of 10 dominant evergreen broad-leaved tree species in the Taiwan-Japan archipelago	Nakao, K ほか	日本森林学会
57	Spatial conservation planning under climate change: Using species distribution modeling to assess priority for adaptive management of <i>Fagus crenata</i> in Japan	Nakao, K ほか	日本森林学会
58	Indicator plant species selection for monitoring the impact of climate change based on prediction uncertainty	Higa, M ほか	日本森林学会
59	Predicting the impact of climate change on potential habitats of fir ( <i>Abies</i> ) species in Japan and on the East Asian continent	Tanaka, N ほか	日本森林学会
60	Factors determining the distribution of a keystone understory taxon, dwarf bamboo of the section <i>Crassinodi</i> , at a national scale: application to impact assessment of climate change in Japan	Tsuyama, I. ほか	日本森林学会
61	Fine-resolution assessment of potential refugia for a dominant fir species ( <i>Abies mariesii</i> ) of subalpine coniferous forests after climate change	Shimazaki, M. ほか	日本森林学会
62	Climatic controls of a keystone understory species, <i>Sasaporpha borealis</i> , and an impact assessment of climate change in Japan	Tsuyama, I. ほか	日本森林学会
63	温暖化の日本産針葉樹 10 種の潜在生育域への影響予測	田中信行 ほか	日本森林学会
64	温暖化にともなうブナ林の適域の変化予測と影響評価	松井哲哉 ほか	日本森林学会
65	Evaluation of habitat sustainability and vulnerability for beech ( <i>Fagus crenata</i> ) forests under 110 hypothetical climatic change scenarios in Japan	Matsui, T. ほか	日本森林学会
66	日本におけるチマキザサ節の潜在分布域の予測と気候変化の影響評価	津山幾太郎 ほか	日本森林学会
67	本州東部におけるチシマザサの潜在分布域の予測と気候変化の影響評価	津山幾太郎 ほか	日本森林学会
68	イヌケホシダの潜在分布域と気候変化シナリオに基づく分布変化の予測	堀川真弘 ほか	日本森林学会
69	世界遺産白神山地ブナ林の気候温暖化に伴う分布適域の変化予測	松井哲哉 ほか	日本森林学会
70	天然林の分布を規定する気候要因と温暖化の影響予測：とくにブナ林について	田中信行 ほか	日本森林学会

	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
71	Probability distributions, vulnerability and sensitivity in <i>Fagus crenata</i> forests following predicted climate changes in Japan	Matsui, T. ほか	日本森林学会
72	Increasing trends of soil greenhouse gas fluxes in Japanese forests from 1980 to 2009	Shoji Hashimoto ほか	日本森林学会
73	Potential carbon stock in Japanese forest soils – simulated impact of forest management and climate change using the CENTURY model	S. Hashimoto ほか	日本森林学会
74	The Potential Effect of Climate Change on the Transpiration of Sugi ( <i>Cryptomeria japonica</i> D. Don) Plantations in Japan.	Hidetoshi SHIGENAGA ほか	日本森林学会
75	温暖化に対するスギ人工林の脆弱性マップ	松本陽介 ほか	日本森林学会
76	森林炭素動態シミュレーションシステムを用いた気候変動が森林炭素吸収量に及ぼす影響評価の試行	光田靖 ほか	日本森林学会
77	A New Estimation of Global Soil Greenhouse Gas Fluxes Using a Simple Data-Oriented Model	Shoji Hashimoto	日本森林学会
78	The hot summers and rice in Japan (特集号：論文10報)	—	農業気象学会
79	Temperature trends at the national agricultural research center for Hokkaido region in the 40 years from 1966 to 2005.	R.Sameshima ほか	農業気象学会
80	北海道の気候条件から見た土壌凍結深制御による野良イモ防除の作業日程の検討.	矢崎友嗣 ほか	農業気象学会
81	地球温暖化の実態とそれが生態系と農業活動に及ぼす影響」に関する研究会に関する報告.	小林和彦 ほか	農業気象学会
82	大規模土地利用型農業で実現したパッシブ制御—土壌凍結を活用した野良イモ防除—	広田知良	農業気象学会
83	温暖化フォーラム（北海道）報告	広田知良 ほか	農業気象学会
84	温暖化フォーラム(石川)報告「温暖化適応策と農業現場での適応行動」.	田中博春 ほか	農業気象学会
85	寒地農業に及ぼす気候変動・温暖化の影響解析・評価と適応対策に関する研究.	広田知良	農業気象学会
86	広島県内における温暖化影響調査報告書	広島県	広島県
87	データで見る温暖化（広島県内における温暖化の影響）	広島県	広島県
88	予想を超えた温暖化の進行とその影響～地球温暖化問題を改めて考える～	石川県	石川県
89	「福井県から見る地球温暖化」調査研究報告書	福井県衛生環境研究センター	福井県
90	平成24年度暮らしにおける温暖化適応策推進事業 気候変動適応策検討業務委託報告書	三重県	三重県
91	平成25年度暮らしにおける温暖化適応策推進事業 気候変動適応策検討業務委託報告書	三重県	三重県
92	気候温暖化は30年後の果樹生産にどんな影響を及ぼすか(第1報)～温暖化予測メッシュ地図の作成～	山梨県果樹試験場プロジェクト	山梨県

	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
93	気候温暖化は 30 年後の果樹生産にどんな影響を及ぼすか(第 2 報)～近年の生育障害の特徴と将来の温度環境予測～	山梨県果樹試験場プロジェクト	山梨県
94	オウトウの 2 雌ずい花 (双子果) の発生には前年の高温・乾燥が影響する	山梨県果樹試験場プロジェクト	山梨県
95	気候温暖化は 30 年後の果樹生産にどんな影響を及ぼすか(第 3 報)～発育速度モデルによる果樹生育の将来予測～	山梨県果樹試験場プロジェクト齊藤典義	山梨県
96	シアナミド剤処理によるオウトウの開花促進効果	山梨県果樹試験場栽培部 落葉果樹栽培科富田晃	山梨県
97	発育速度モデルによるモモの開花日予測	山梨県果樹試験場栽培部 落葉果樹栽培科萩原栄揮	山梨県
98	着色系ブドウの色素組成によるグループ分けと着色に及ぼす光の影響	山梨県果樹試験場栽培部 生食ブドウ栽培科宇土幸伸	山梨県
99	巨峰系黒色品種の色素含量と着色特性の品種間差異	山梨県果樹試験場栽培部 生食ブドウ栽培科宇土幸伸	山梨県
100	糖蓄積がブドウの着色に及ぼす影響の品種間差異と高糖度生産の重要性	山梨県果樹試験場栽培部 生食ブドウ栽培科宇土幸伸	山梨県
101	開花期の高温遭遇がオウトウ主要品種の胚珠退化に及ぼす影響	山梨県果樹試験場栽培部 落葉果樹栽培科富田晃	山梨県
102	開花期の高温に対するオウトウの結実向上対策	山梨県果樹試験場栽培部 落葉果樹栽培科富田晃	山梨県
103	ジベレリン処理方法の違いがブドウ「ピオーネ」、「ゴルビー」の着色に及ぼす影響	山梨県果樹試験場栽培部 生食ブドウ栽培科宇土幸伸	山梨県
104	遺伝子マーカーを利用した着色良好な四倍体黒色系ブドウ品種育成の効率化	山梨県果樹試験場 育種部 生食ブドウ育種科 山下浩輝	山梨県
105	甲府盆地の夏季温湿度データベースの構築	赤塚慎・宇野忠	山梨県
106	甲府盆地における夏季夜間のヒートアイランド現象	赤塚 慎 ほか	山梨県
107	GIS ベースの推定に基づく時刻別全天日射量の開発	赤塚 慎 ほか	山梨県
108	山梨県における熱中症発生の地域特性	赤塚 慎 ほか	山梨県
109	地球温暖化がもたらす日本沿岸域の水質変化とその適応策に関する研究—沖縄県における海水温変動傾向について—	天願博紀	沖縄県
110	長崎県沿岸における水温および漁獲量の経年変化について	長崎県総合水産試験場漁業資源部	長崎県
111	滋賀の環境 2013	滋賀県	滋賀県
112	Climatology of line-shaped rainbands over northern Japan in boreal summer between 1990 and 2010	Tomohito J. ほか	—
113	Synoptic climatology associated with extreme snowfall events in Sapporo city of northern Japan	M. A. Farukh ほか	—
114	Correlation between Asian dust storms and worsening asthma in Western Japan.	Watanabe M ほか	日本肺癌学会

	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
115	Pollen augments the influence of desert dust on symptoms of adult asthma patients.	Watanabe M ほか	日本肺癌学会
116	Influence of Asian Desert Dust on Lower Respiratory Tract Symptoms in Patients with Asthma over 4 Years.	Watanabe M ほか	日本肺癌学会
117	Effects on asthma and induction of interleukin-8 caused by Asian dust particles collected in western Japan.	Watanabe M ほか	日本肺癌学会
118	Influence of Asian dust storms on asthma in western Japan.	Watanabe M ほか	日本肺癌学会
119	Exposure to Asian desert dust and pulmonary function of school children in western Japan.	Watanabe M ほか	日本肺癌学会
120	Seasonal Variation in Mortality from Ischemic Heart Disease and Cerebrovascular Disease in Okinawa and Osaka: the Possible Role of Air Temperature	Hideo Tanaka ほか	日本疫学会
121	Health Impacts of Global Climate Change	Mitsuru Ando ほか	日本疫学会
122	Outline of Health Effects of Global Climate Change	Mitsuru Ando ほか	日本疫学会
123	International Workshop on the Health Effects of Ultraviolet Radiation Opening Remarks	Hideyuki Mori	日本疫学会
124	Epidemiology and Prospects for Health in the Twenty-First Century	Hiroshi Nakajima	日本疫学会
125	Second Moment Method to Evaluate Human Health Risks of Climate Change	Warren T. Piver ほか	日本疫学会
126	Effect of the Interaction Between Outdoor Air Pollution and Extreme Temperature on Daily Mortality in Shanghai, China	Yuexin Cheng ほか	日本疫学会
127	Diurnal Temperature Range is a Risk Factor for Coronary Heart Disease Death	Jingyan Cao ほか	日本疫学会
128	Climate Impacts on Vector-Borne Disease Transmission: Global and Site-Specific Analyses	Jonathan A ほか	日本疫学会
129	Environmental Epidemiology : Origins, Current Status and Future Challenges	A. J. McMichael	日本疫学会
130	Some Health Impacts of Global Warming in South America:Vector-Borne Diseases	Rodolfo U. Carcavallo ほか	日本疫学会
131	Sociogeographic Variation in the Effects of Heat and Cold on Daily Mortality in Japan	Chris Fook Sheng Ng ほか	日本疫学会
132	Relationship between a High Mortality Rate and Extreme Heat During the Summer of 1999 in Hokkaido Prefecture, Japan	Dongmei Qiu ほか	日本疫学会
133	High Temperature as a Risk Factor for Infectious Diarrhea in Shanghai, China	Xiaodan Zhou ほか	日本疫学会
134	Long-Term Exposure to Particulate Matter in Relation to Mortality and Incidence of Cardiovascular Disease: The JPHC Study	Yuji Nishiwak ほか	日本疫学会



	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
135	Characterizing the effect of summer temperature on heatstroke-related emergency ambulance dispatches in the Kanto area of Japan	Chris Fook Sheng Ng ほか	日本疫学会
136	Effects of Asian Dust Storm on Health-related Quality of Life: A Survey Immediately after an Asian Dust Storm Event in Mongolia.	Mu, H ほか	日本疫学会
137	黄砂が健康人の自覚症状に与える影響	大谷眞二 ほか	日本疫学会
138	Health effects of dust storms: subjective eye and respiratory system symptoms in inhabitants in Mongolia.	Mu, H. ほか	日本疫学会
139	The effect of Asian dust events on the daily symptoms in Yonago, Japan: a pilot study on healthy subjects.	Otani, S. ほか	日本疫学会
140	Adverse health effects of Asian dust particles and heavy metals in Japan.	Onishi, K. ほか	日本疫学会
141	Atmospheric transport route determines components of Asian dust and health effects in Japan.	Kazunari Onishi ほか	日本疫学会
142	The relationship between skin symptoms and allergic reactions to Asian dust	Otani, S. ほか	日本疫学会
143	Adverse health effects of Asian dust particles and heavy metals in Japan.	Onishi, K. ほか	日本疫学会
144	Long-term effects of livestock loss caused by dust storm on mongolian inhabitants: a survey 1 year after the dust storm.	Mu, H. ほか	日本疫学会
145	黄砂の飛来と健康影響 (特集 越境大気汚染の今後).	黒沢洋一 ほか	日本疫学会
146	Seasonal variations of office, home, and 24-hour ambulatory blood pressure in patients with essential hypertension	Minami J ほか	日本高血圧学会
147	Seasonal variations in office and home blood pressures in hypertensive patients treated with antihypertensive drugs	Minami J ほか	日本高血圧学会
148	Seasonality as a risk factor for sudden unexpected death in epilepsy: A study in a large cohort	Gail S. Bell ほか	日本脳神経外科学会
149	The Association Between Weather and Spontaneous Subarachnoid Hemorrhage: An Analysis of 155 US Hospitals	Matthew C. Cowperthwaite ほか	日本脳神経外科学会
150	Seasonal and meteorological determinants of aneurysmal subarachnoid hemorrhage: a systematic review and meta-analysis	W. A. A. de Steenhuijsen Pipers ほか	日本脳神経外科学会
151	Season of tumor surgery in relation to deaths among brain tumor patients: does sunlight and month of surgery play a role in brain tumor deaths?	Helina Hakko ほか	日本脳神経外科学会
152	Meteorological factors and aneurysmal subarachnoid haemorrhage in Hong Kong	HY Law ほか	日本脳神経外科学会
153	Risk of primary childhood brain tumors related to season of birth in Kumamoto Prefecture, Japan	Keishi Makino ほか	日本脳神経外科学会
154	Prediction of the incidence of spontaneous intracerebral hemorrhage	Hiroshi Nakaguchi ほか	日本脳神経外科学会

	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
155	Meteorological influences on the Incidence of Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage – A Single Center Study of 511 Patients	Marian Christoph Neidert ほか	日本脳神経外科学会
156	Involvement of Meteorological Factors and Sex in the Occurrence of Subarachnoid Hemorrhage in Japan	Kimiko UMEMURA ほか	日本脳神経外科学会
157	Seasonal variation in spontaneous intracerebral hemorrhage frequency in Chengdu, China, is independent of conventional risk factors	Kun Wang ほか	日本脳神経外科学会
158	Clinical Implications of Seasonal Variations in Hemodialysis Patients	Frank M. van der Sande ほか	日本臨床検査医学会
159	Circannual Rhythm of Laboratory Test Parameters among Chronic Haemodialysis Patients	Mitsuru Yanai ほか	日本臨床検査医学会
160	地球環境研究の現状、課題および将来展望	日本学術会議予防医学研究連絡委員会	日本衛生学会・日本産業衛生学会
161	Present state of Japanese cedar pollinosis: The national affliction	Takechiyo Yamada ほか	アレルギー学会
162	本邦における熱中症の実態	三宅 康史 ほか	日本救急医学会
163	人工呼吸管理を要した熱中症患者の予後予測因子	鶴田 良介 ほか	日本救急医学会
164	熱中症による中枢神経系後遺症	中村 俊介 ほか	日本救急医学会
165	熱中症の実態調査	三宅 康史 ほか	日本救急医学会
166	本邦における低体温症の実態	日本救急医学会 熱中症に関する委員会	日本救急医学会
167	本邦における熱中症の現状	日本救急医学会 熱中症に関する委員会	日本救急医学会
168	気候変動と水資源開発がナムグム川流域の水循環に与える複合的影響の評価	工藤亮治 ほか	農業農村工学会
169	間断灌漑における間断日数の違いが水田からの温室効果ガス放出と水稻収量に及ぼす影響	工藤祐亮 ほか	農業農村工学会
170	Peak Over Threshold 理論による確率日雨量の推定	近森秀高 ほか	農業農村工学会
171	気候変動が灌漑主体流域における農業水利用に与える影響の定量的評価法	工藤亮治 ほか	農業農村工学会
172	手取川流域における積雪水資源量の長期間分析と地球温暖化による影響予測	能登史和 ほか	農業農村工学会
173	乳牛ふん尿主体のバイオメタン製造プラント導入による温室効果ガス排出削減とその経営収支に関する分析	大久保天 ほか	農業農村工学会
174	地域定数を用いた温度法による可能蒸発量の推定精度向上	諸泉利嗣 ほか	農業農村工学会
175	埋設型ガスモニタリングシステムを用いた降雨時の不飽和黒ボク土壌中 CO <sub>2</sub> ガス濃度変化の検討	遠藤敏史 ほか	農業農村工学会
176	気象変化が深い湖の湖面蒸発量、水温、熱収支に及ぼす影響－鹿児島県池田湖の事例－	伊藤祐二 ほか	農業農村工学会
177	手取川山地流域におけるタンクモデルを用いた積雪水資源量の評価	能登史和 ほか	農業農村工学会

	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
178	地域確率雨量の経年変化	工藤亮治 ほか	農業農村工学会
179	メタン発酵消化液の施用が畑地土壌からの温室効果ガス発生と窒素溶脱に及ぼす影響	中村真人 ほか	農業農村工学会
180	メタン発酵消化液の施用による土壌から大気への温室効果ガス発生量の変化	藤川智紀 ほか	農業農村工学会
181	日本海沿岸域における降水量の周期変動	久保田晴香 ほか	農業農村工学会
182	気候変動影響に関するため池管理者へのアンケート調査の結果報告	佐藤俊典	農業農村工学会
183	猛暑に対応した水稻作付け体系が用水需要変動に及ぼす影響	坂田賢 ほか	農業農村工学会
184	夏期の飽水管理が土壌環境と玄米品質に及ぼす影響	藤原洋一 ほか	農業農村工学会
185	神流川沿岸地区における水稻高温障害に対する農業用水管理	志野尚司 ほか	農業農村工学会
186	「山田錦」における高温障害抑制のための掛流し灌漑試験	竹下伸一 ほか	農業農村工学会
187	気象の極端化のウンシュウミカンへの影響を軽減する「マルドリ方式」	島崎昌彦 ほか	農業農村工学会
188	掛流し灌漑による高温障害対策時の用排兼用水路の水温形成	木村匡臣 ほか	農業農村工学会
189	水田地域を多く含む流域における農業用水の温度変化	新村麻実 ほか	農業農村工学会
190	夜間掛流し灌漑による水田水温と葉温低下	西田和弘 ほか	農業農村工学会
191	パイプラインを利用した夜間灌漑実証試験	大塚直輝 ほか	農業農村工学会
192	地球温暖化に伴う降水特性の経年変化	近森秀高 ほか	農業農村工学会
193	気候変動に伴うわが国の農業用水・土地改良施設への影響	室本隆司 ほか	農業農村工学会
194	農業農村開発協力における気候変動への取り組み	内藤久仁彦	農業農村工学会
195	気候変動が水・土地資源に及ぼす影響評価と対策技術の開発研究	増本隆夫 ほか	農業農村工学会
196	農村地域における再生可能エネルギー導入と温室効果ガス削減について	松岡彰博 ほか	農業農村工学会
197	気候変動に伴う農地・農業用施設に関する影響評価国際規格化の動き	平岩竜彦 ほか	農業農村工学会
198	気候変動下の災害軽減に向けた水田の洪水防止機能の利活用	増本隆夫	農業農村工学会
199	農業農村工学分野における地球環境研究の方向と課題	渡邊紹裕	農業農村工学会
200	地球温暖化と農業農村整備における技術的対応	高橋順二	農業農村工学会
201	地球温暖化が流域水循環・食料生産に及ぼす影響	増本隆夫	農業農村工学会
202	農耕地からの温室効果ガス発生緩和策	八木一行	農業農村工学会
203	地域バイオマスによる土壌炭素貯留に向けた技術開発の展望	山岡賢 ほか	農業農村工学会
204	原野・森林火災の制御による温室効果ガス放出の抑制	串田圭司	農業農村工学会
205	帯水層を利用した地球温暖化緩和技術	石田聡 ほか	農業農村工学会

	提供いただいた論文等の名称	執筆者等	情報提供団体
206	消化液を液肥利用するメタン発酵システムによる温室効果ガス削減効果	中村真人 ほか	農業農村工学会
207	地球温暖化時代に対応した農業分野における新たな水政策についての概念整理	荘林幹太郎 ほか	農業農村工学会
208	地球温暖化時代の農業農村工学	赤江剛夫	農業農村工学会
209	農業水利における地球温暖化対応のための気象・水文事象の評価	高橋順二 ほか	農業農村工学会
210	世界の水問題と日本の貢献	渡邊紹裕	農業農村工学会
211	「農業農村整備における地球温暖化対応検討会」取りまとめ報告	本間泰造 ほか	農業農村工学会
212	CO2 排出量を削減する農業・農村整備事業の仕組み	田島明彦	農業農村工学会
213	地球温暖化・気候変動	渡邊紹裕	農業農村工学会
214	農業用水利用の環境変化への対応	高橋順二	農業農村工学会
215	水田からの温室効果ガス放出	飯田俊彰	農業農村工学会
216	泥炭地湿原におけるメタンバブルの存在、挙動とその役割	常田岳志 ほか	農業農村工学会
217	わが国の年降水量の変動について	近森邦英 ほか	農業農村工学会
218	わが国年降水量の傾向と地域性	近森邦英 ほか	農業農村工学会
219	2003 日本の冷夏	気象研究ノート 210 号	日本気象学会
220	気象集誌第 87 巻第 3 号 CMIP3 マルチ気候モデルにおける大気海洋諸現象の再現性研究特集 Part1	日本気象学会誌	日本気象学会
221	気象集誌第 87 巻第 4 号 CMIP3 マルチ気候モデルにおける大気海洋諸現象の再現性研究特集 Part2	日本気象学会誌	日本気象学会
222	気象集誌第 90A 巻第 3 号 温暖化予測モデルの高度化と予測に関する特別号	日本気象学会誌	日本気象学会
223	気象集誌第 90B 巻	日本気象学会誌	日本気象学会

(ウ) 「中間報告」の概要に関する意見の募集

	御意見の概要	御意見への考え方
1	<p>気候変動の影響は、個別にそれぞれの主体、対象ごとに現れます。個別の主体が影響評価、適応策の検討を進めていくためには、国が確率分布を示した気候変動予測結果をオーソライズし、わかりやすく示す必要があると考えます。私が考える確率分布を示したわかりやすい予測結果とは、例えば「2050年頃の関東地方の猛暑日の年間増加日数は25%～75%値は5日～8日、90%値は10日」といったものです。</p>	<p>貴重な御意見をありがとうございます。意見具申に向けて、国民にわかりやすく示せるよう御意見も参考にしつつ検討を進めて参ります。</p>
2	<p>(意見の該当箇所Ⅰ)</p> <p>4.1 (1) 将来影響に関する情報の充実の必要性 (10行目～)</p> <p>「また、研究では取り上げられる事がないが、国民の日常生活の感覚から必要と思われる事象についても、今後の将来影響を整理するプロセスにおいて情報を収集する必要もあると思われる。」</p> <p>(修正案Ⅰ)</p> <p>「また、研究では取り上げ…… (略) ……<u>情報を収集する必要がある。</u></p> <p>(理由Ⅰ)</p> <p>本報告の中でこの文のみ「必要と思われる」となっています。生活者の感覚から必要と思われる影響を収集し、広く国民の認識を高めることは必要と考えます。</p>	<p>貴重な御意見をありがとうございます。修正案については、意見具申に向けた検討の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>(意見の該当箇所Ⅱ)</p> <p>4.2 (1) 情報や知見の集積 (3行目～)</p> <p>「また、これらの情報を有効に活用するためには、国や地方公共団体、民間において観測されたデータなどを活用した観測データベースの整備や、多様なデータを共通的に使用可能とするための技術開発及び運用体制の整備なども必要である。」</p> <p>(修正案Ⅱ)</p> <p>「また、これらの情報を有効に活用するためには、<u>国民の主体的な行動に結びつくようにわかりやすく示す工夫や、国や地方公共団体、民間において観測されたデータなどを活用した観測データベースの整備、多様なデータを…… (略) ……必要である。</u></p> <p>(理由Ⅱ)</p> <p>情報を活用するためには、活用が進む体制とともに、情報そのもののわかりやすさが必要と考えます。</p>	<p>貴重な御意見をありがとうございます。修正案については、意見具申に向けた検討の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>(意見の該当箇所Ⅲ)</p> <p>4.2 (3) 地方公共団体等の支援</p> <p>(意見Ⅲ)</p> <p>地方公共団体に対する支援として、影響評価の手法の提示や情報提供を例示されていますが、取組を促進するためには、より戦略的な支援として省庁における適応策の推進と連携した取組や独自の取組に対する重点投資も視野に入れていただきたい。</p> <p>(理由Ⅲ)</p> <p>先行して取り組む地方公共団体の取組から好事例を引出し、全国的な取組へと広げていただくことで、各省庁の取組の活性化にも結びつくのではないかと考えます。</p>	<p>貴重な御意見をありがとうございます。適応策の取組促進については、本小委員会の検討の範囲ではありませんが、今後の環境省の政策検討の参考とさせていただきます。</p>